



国連生物多様性の10年日本委員会

ロゴマーク仕様等

1 ログマークのコンセプト

2010年10月、愛知県名古屋市で開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）で、世界的に生物多様性の損失に歯止めがかからない現状を踏まえ、2011年以降の新たな世界目標である「愛知目標」が採択されました。この目標の達成に貢献するため、COP10議長国である日本の提案を受け、2011年から2020年までの10年間で、国際社会のあらゆるセクターが連携して生物多様性の保全と持続可能な利用に向けて取り組む「国連生物多様性の10年」とされました。

これを受け、我が国では、国内各層による取組を促進するため、経済界、NGO/ユース、学术界、自治体、メディアなど様々なセクターが参画する「国連生物多様性の10年日本委員会」が設立され、日本社会における生物多様性の主流化に向けた活動が開始されています。

この国連生物多様性の10年日本委員会ログマークは、COP10ログマークのコンセプト（日本の知恵と文化を象徴する「折り紙のいきもの」を円形に、その中央に人間を配置し、人類と多様ないきものとの共生を表現）を継承し、「日本のいきもの」の折り紙を楕円形に、その中央に人類と国連生物多様性の10年の期間を配置することで、日本を起点に人といきものつながりを維持、回復させ、自然と共生する世界の実現を目指す思いを表現しています。



2 ログマークの仕様について

(1) ログマークの表示色について

ログマークの表示色には、カラー、モノクロ、単色の3つの種類があります。カラーとモノクロについては、それぞれ指定の色彩を使用してください。また、色の濃い背景に表示する場合には、周囲にゆったりとした白マドを設けてください。なお、白マドは別途指定のある保護エリアのサイズと同じか、それより大きくしてください。単色に限り、ネガティブ表示及び素材色を活かした表示が可能です。

カラーバージョン



トキ	プロセス/K40 特 色/PANTONE Cool Gray 6C	ニホンカモシカ	プロセス/M70 特 色/PANTONE 673C
フクロウ	プロセス/M60+Y100 特 色/PANTONE 716C	クマ	プロセス/M60+Y100+K20 特 色/PANTONE 7412C
ワシ	プロセス/M50+K60 特 色/PANTONE 5135C	イルカ	プロセス/C70 特 色/PANTONE 2915C
イノシシ	プロセス/C30+M40+Y100 特 色/PANTONE 457C	蝶	プロセス/C30+M70 特 色/PANTONE 688C
カエル	プロセス/C30+Y100 特 色/PANTONE 390C	魚	プロセス/C50 特 色/PANTONE 2905C
キジ	プロセス/C100+Y100 特 色/PANTONE 348C	樹木	プロセス/C60+Y100 特 色/PANTONE 376C
ニホンザル	プロセス/M25+Y100 特 色/PANTONE 7406C	花	プロセス/M80+Y20 特 色/PANTONE 7423C
カブトムシ	プロセス/K85 特 色/PANTONE Cool Gray 11C	ヒト	プロセス/C10+M100+Y100 特 色/PANTONE 1805C
ウミガメ	プロセス/C100+M60 特 色/PANTONE 300C	数字	プロセス/C60+M10 特 色/PANTONE 292C

モノクロバージョン



トキ	K40	キジ	K65	クマ	K80	花	K40
フクロウ	K50	ニホンザル	K45	イルカ	K50	ヒト	K90
ワシ	K85	カブトムシ	K85	蝶	K40	数字	K55
イノシシ	K70	ウミガメ	K85	魚	K30		
カエル	K40	ニホンカモシカ	K70	樹木	K50		

単色バージョン（網点が使用できない場合）



■ K100



ネガティブ

□ WHITE

(2) 最小使用サイズについて

ログマークの最小使用サイズは直径18mmとします。



18mm

3 ロゴマーク、名称の組み合わせ形について

(1) 組み合わせ形

ロゴマーク、名称の組み合わせ形の日本語版と英語版を作成しています。ロゴマーク使用に際しては、この例に限るわけではありませんが、可能な限り、これらのタイプに準拠して使用してください。

日本語版

A type



B type



国連生物多様性の10年日本委員会

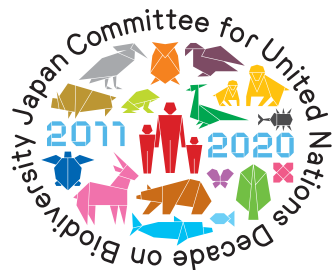
C type



国連生物多様性の10年
日本委員会

英語版

A type



B type



Japan Committee for UNDB

C type

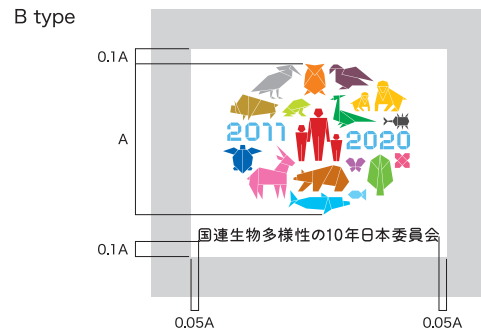
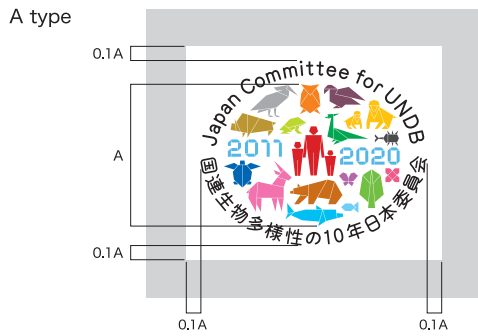


Japan Committee
for UNDB

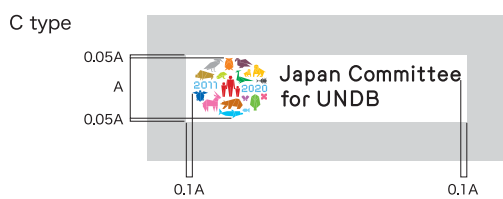
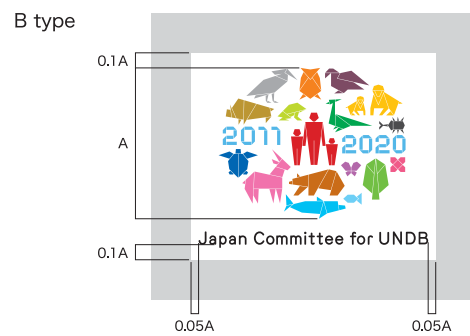
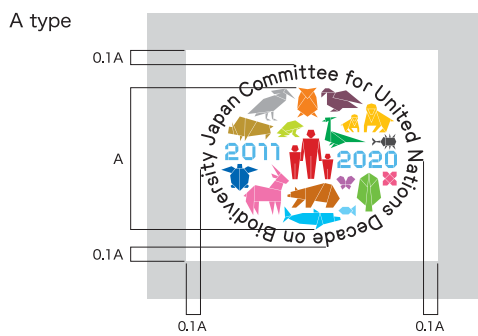
(2) 保護エリア

それぞれの表示例に保護エリアを設定していますが、これらの例以外の方法で使用する場合にも、これらの例を参考に、必要な保護エリアを必ず確保してください。

日本語版



英語版



(3) ロゴマークの表示例

下記を参考にロゴマークが効果的に表示されるよう心掛けてください。



色の濃い背景に表示する場合は周囲にゆったりとした白マドを設けてください。



ロゴマークの視認性を損なわない程度の淡い背景であれば白マドなしで表示できます。



単色バージョンに限りネガティブで表示できます。



単色バージョンに限り素材色を活かした表示ができます。

4 委員会関連事業での使用について

国連生物多様性の10年日本委員会の広報組織等のメンバー及び寄付・協賛者が使用する場合や、本委員会の認定や後援・推薦を受けた事業等に使用する場合は、ロゴマークの近くに以下のような文章（補足表示文）を表示してください。また、ロゴマークと補足表示文の配置は、次頁以降の使用例を参考にしてください。

(1) 委員会の広報組織等のメンバーが使用する場合

- ・私は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」の地球いきもの応援団の一員として生物多様性の普及啓発に取り組んでいます。
- ・私は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」の生物多様性リーダーの一員として生物多様性の主流化に取り組んでいます。
- ・〇〇は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」の生物多様性キャラクター応援団の一員として生物多様性の普及啓発に取り組んでいます。 ※〇〇はキャラクター名
- ・〇〇は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」のIki・Tomoパートナーズの一員として生物多様性の保全や持続可能な利用に取り組んでいます。
※〇〇は企業・団体名(個人の場合は私)

(2) 委員会により認定された連携事業に使用する場合

- ・この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」が推奨する事業として認定を受けています。

(3) 委員会により選定された推薦図書等に使用する場合

- ・この作品は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」の推薦を受けています。

(4) 委員会が主唱する「グリーンウェイブ」活動として登録された植樹等の活動に使用する場合

- ・この活動は「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」が主唱する「グリーンウェイブ〇〇」に登録している活動です。
※〇〇は、登録した活動の実施年（例えば「グリーンウェイブ2017」）

(5) 委員会が後援、推薦する行事等が使用する場合

- ・この行事（例）は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」の後援を受けています。
- ・この作品（例）は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」の推薦を受けています。

(6) 委員会への寄付・協賛者が使用する場合

- ・〇〇は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」サポーターとして様々な活動を支援しています。
- ・〇〇は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」サポーターとして△△プロジェクトを支援しています。
※〇〇は企業・団体名(個人の場合は私) ※△△は寄付金募集プロジェクト名

【広報組織等のメンバー】

A type



私は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」の地球いきもの応援団の一員として生物多様性の普及啓発に取り組んでいます。



私は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」の生物多様性リーダーの一員として生物多様性の主流化に取り組んでいます。



〇〇は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」のIki-Tomo パートナーズのメンバーとして生物多様性の普及啓発に取り組んでいます。



〇〇は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」の生物多様性主流化推進団（仮）の一員として生物多様性の保全や持続可能な利用に取り組んでいます。

B type



私は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」の地球いきもの応援団の一員として生物多様性の普及啓発に取り組んでいます。



私は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」の生物多様性リーダーの一員として生物多様性の主流化に取り組んでいます。



〇〇は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」の生物多様性キャラクター応援団の一員として生物多様性の普及啓発に取り組んでいます。



〇〇は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」のIki-Tomo パートナーズの一員として生物多様性の保全や持続可能な利用に取り組んでいます。

【認定連携事業】

A type



この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」が推奨する事業として認定を受けています。

B type



この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」が推奨する事業として認定を受けています。

【推薦図書等】

A type



この作品は
「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」
の推薦を受けています。

B type



この作品は
「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」
の推薦を受けています。

【グリーンウェイブ】

A type



この活動は
「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」が主催する
「グリーンウェイブ〇〇」に登録している活動です。

B type



この活動は
「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」が主催する
「グリーンウェイブ〇〇」に登録している活動です。

【後援・推薦等】

A type



この行事（例）は
「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」
の後援を受けています。

B type



この行事（例）は
「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」
の後援を受けています。



この作品（例）は
「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」
の推薦を受けています。



この作品（例）は
「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」
の推薦を受けています。

【寄付・協賛者】

A type



〇〇は
「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」サポーターとして
様々な活動を支援しています。

B type



〇〇は
「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」サポーターとして
様々な活動を支援しています。



〇〇は
「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」サポーターとして
△△△△プロジェクトを支援しています。



〇〇は
「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」サポーターとして
△△△△プロジェクトを支援しています。